

12月25日発売予定 角川文庫『からくり同心 景 黒い好敵手』
発売中止のお知らせとお詫び

平素は格別のご愛顧をたまわり、心より御礼申し上げます。

2015年12月25日発売予定の角川文庫『からくり同心 景 黒い好敵手』（谷津矢車：著）におきまして、校正ゲラを確認中の谷津先生より、原稿の改変が行われているのではないかとご指摘を受けました。

これを受け編集部にて調査の結果、当初の原稿とは異なる箇所が多数にわたって確認され、担当編集者が谷津先生に無断で原稿を改変していたことが判明いたしました。

またシリーズ第1巻『からくり同心 景』（2015年8月25日刊）につきましても、同様の改変があると確認いたしました。

弊社はこの事態を大変重く受けとめ、谷津先生に謝罪を申し上げたうえ、著者のご意向に沿い、本文庫を発売中止、第1巻を回収のうえ絶版とさせていただきます。

原稿の無断改変は、決して行ってはならないことであり、弊社は深く反省するとともに、入稿チェック体制の厳重強化、編集者の指導、教育を徹底し、二度とこのようなことを起こさぬよう、再発防止に努めて参ります。

本件につきましては、読者の皆様、谷津先生、また関係各位の皆様に多大なるご迷惑をおかけしましたこと誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

平成27年12月24日

株式会社 KADOKAWA

文芸・ノンフィクション局

お詫び

拙作「からくり同心景」シリーズに不正が見つかってしまいました。

正直、未だに心の整理が出来ていません。なので、事実をありのままに書くことしかできません。

「からくり同心景」第二部のゲラチェックの際、明らかにわたしのものではない文章が混入していました。しかも、中にはキャラクターの台詞などの小説にとって核である要素にさえ手が加えられていた形跡がありました。何者かが、わたしの文章を大幅に改竄していたのです。その改竄に気づいたわたしはこの事実を出版社に報告し、協議を重ねました。その中で、改竄者が担当編集者であったこと、さらにはその改竄範囲が広範にわたることも併せて判明するに至り、もはやわたしの著作物と胸を張れる代物ではなくなっていたことが判明したのです。以上のことから、著作者権限で既に印刷段階に入っていた「からくり同心景」第二部を発売中止にし、同シリーズを凍結させるという決定を下しました。

わたしは今、なぜ当該編集者がこんなことをしたのだろうと憤慨するとともに、なぜこの不正をもっと早くに見抜くことが出来なかったのだろうという自責の念に駆られています。もしもわたしが早期にこの不正に気付けたのなら、「からくり同心景」シリーズは何事もなく書店に並び、読者の皆様の手に届いていたはずです。それができなかったばかりに、ここまでの大事となってしまいました。

この決定にあたり、様々な方にご迷惑をおかけいたしました。印刷所の皆様、取次の皆様、書店の皆様。装画を描いてくださった THORES 柴本先生やデザイナーの方。他にもご迷惑をおかけした方は数多くいらっしゃることでしょう。この本を生み出し、世に出すまでにご尽力くださった皆様、本当に申し訳ございませんでした。

そして何より、「からくり同心景」を手にとってくださった読者の皆様。結果的に著者であるはずのわたしは、著者にすら責任を負うことのできないものをあなたに届けてしまいました。本当に申し訳ございませんでした。また、2015年12月刊行予定であった第二部をお待ちくださっていた皆様、このような事態となってしまったこと、重ねてお詫び申し上げます。

この度は、誠に申し訳ございませんでした。

谷津矢車